

第1 学年国語科学習指導案

日 時 平成18年11月10日(金)

1 単元名 ちがいをかんがえてよもう

2 教材名 どうぶつの赤ちゃん

3 単元について

(1) 教材や指導価値について

本単元「ちがいを考えてよもう」では、対比の視点を明確にし、読み取った内容を比較することから、かかっていることの大体を読み取ることをねらいとしている。動物の世界は、児童にとって興味をかきたてられる世界であり、不思議な世界である。ここでは、その動物の中でも多くの児童が知っているライオンとしまうまの赤ちゃんの様子を対比しながら大体の内容を読み取り、さらにほかの動物の赤ちゃんについても書くことのできるように必要な事柄を集めることをねらいとしている。

本教材では、ライオンとしまうまの生まれたときの大きさ、目や耳の様子、母親と似ているか等を比較しながら読み取る。この教材は、初めに問題提起があり、それに答える形でライオンとしまうまの説明が展開される。説明は、同じ形式でかかれているので、ライオンでの読み取りをしまうまの読み取りに生かすことができる。

「いろいろなくちばし」「じどう車くらべ」に次ぐ三つ目の説明文である。問題提起があり、それに対する答えがあり説明されるという構造はこれまでの説明文と共通している。また、よみとったことを元に図鑑を作る学習は、個人差に応じたものであり、楽しくできる。

(2) 児童の実態

児童のほとんどは、ひらがなを習得した。本の読み聞かせだけでなく、2学期からは、図書の貸し出しも行い、自分の力で本を読むようになった。音読はつまずかず、読めるようになったが、口形を意識した音読には至っていない。「書くこと」については、パターン化された文は書けるが、そこから広がらない児童がいる。

これまで「いろいろなくちばし」「じどう車くらべ」の学習を通して問いと答えという関係を理解し、それを生かしたカードや図鑑を作ってきた。鳥や自動車という児童が興味を持てる教材であったこともあり、児童は意欲的に取り組んだ。

ライオンとしまうまの生まれたときの大きさや目や耳の様子などを絵や表を使って比較しながら内容を読み取ることができ、児童にとって、視点を明確にした学習活動になるであろう。

(3) 指導の構想

本教材を通して、基礎基本の定着を図るために、「特徴や違いについて内容の大体を読むこと」と、「自分が書きたい動物について必要な事柄を集め、語と語や文と文との続き方に注意して書くこと」というそれぞれの領域の特性を生かした言語活動を行っていきたい。

文章の内容を理解するため、絵や表を効果的に使いたい。また、本教材の動物は普段目にする動物ではないので、実物の大きさや時間の経緯などを実感できるような工夫をしたい。時間・事柄の順序を考慮して読むことは、2年時の学習につながると考える。

そして、この学習を通して、動物への興味関心を広げ、動物関連の本に親しむことができるようにしたい。

4 単元の目標と評価規準

	目 標	評 価 規 準
国語への関心・意欲・態度	・動物の赤ちゃんに関心をもち、進んで読んだり調べたりする。	・動物の赤ちゃんに関心をもち、進んで読んだり調べたりしようとしている。
読む能力	・特徴や違いを考えながら、内容の大体を読み取ることができる。(イ)	・赤ちゃんの特徴や違いなどを考えながら、大体の内容を読み取り、ノートやワークシートにまとめている。
書く能力	・書こうとする題材に必要な事柄を集めることができる。(イ) ・事柄の順序を考え、語と語や文と文との続き方に注意して書くことができる。(エ)	・動物の赤ちゃんについて書くのに必要な事柄を集めている。 ・説明の順序を考え、語と語や文と文との続き方に注意して書いている。
言語についての知識・理解・技能	・文の中の主語と述語のつながりを確かめながら読むことができる。(エ)	・文の中の主語と述語の関係や文のつながりを理解して読んでいる。

5 単元指導計画（11時間）

- (1) 学習の見通しをもつ。 (2)
- ・全文を読み、感想をもつ。 1
 - ・学習の計画を立てる。 1
- (2) 視点によって、動物の特徴や違いを考える。 (5)
- ・ライオンの赤ちゃんの生まれたばかりの様子を読み取る。 1
 - ・ライオンの赤ちゃんが大きくなっていく様子を読み取る。 1
 - ・しまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子を読み取る。 1
 - ・しまうまの赤ちゃんが大きくなっていく様子を読み取る。 1 (1校時)
 - ・ライオンとしまうまの赤ちゃんの違いをくらべる。 1
- (3) 「どうぶつの赤ちゃんずかん」を作る。 (4)
- ・動物の赤ちゃんについての本を読む。 1
 - ・興味をもった赤ちゃんについて調べる。 1 (2校時)
 - ・動物の赤ちゃんを紹介するカードを書く。 1
 - ・「どうぶつの赤ちゃんずかん」を読み合い、感想などを交流する。 1

6 本時の指導について

(1) 本時の目標

しまうまの赤ちゃんの成長の様子を読み取ることができる。

(2) 本時の評価規準

しまうまの赤ちゃんが大きくなっていく様子についてまとめている。

(3) 本時の展開

過程	学習活動と学習内容	指導上の留意点	評価
導 入 (5分)	1 前時の学習内容を想起する。 2 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> しまうまの赤ちゃんは、どのようにして大きくなっていくのでしょうか。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 前時は、しまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子を学習したことを想起させる。 歩けるようになる様子と食べ物について学習することを確認する。 	○学習課題をとらえている。(観察)
展 開 (35分)	3 本時の学習箇所を音読する。 4 立ち上がることと食べ物のことが書かれているところに、サイドラインを引く。 5 しまうまの赤ちゃんが歩けるようになる様子を読み取る。 (1) サイドラインを引いたところを確認し、歩けるようになる様子について話し合う。 (2) ワークシートにまとめる。 6 しまうまの赤ちゃんの食べ物について、読み取る。 (1) サイドラインを引いたところを確認し、食べ物について話し合う。 (2) ワークシートにまとめる。 7 感想を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> しまうまの赤ちゃんが立ち上がるころと、食べ物について書かれているところを探しながら読むよう指示する。 「三十ふんもたたないうちに」、「つぎの日には」に着目させる。 すぐに立ち上がることは、敵から逃げるために必要であることに気づかせたい。 「たった七日ぐらい」「そのあとは、」に着目させる。 	○具体の評価規準 (A)しまうまの赤ちゃんが大きくなる様子について、時間の経過を表す言葉に着目してまとめている。 (B)しまうまの赤ちゃんが大きくなる様子について、まとめている。 (C)書けない児童には、時間の経過を表す言葉を与える。

終末 (5分)	8 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観点に基づき、自己評価させる。 ・ 次時は、ライオンの赤ちゃんとの違いを見つけることを知らせる。 	○観点に基づき自己評価している。(挙手)
	9 次時の学習内容を確認する。		

ま

ま

ま

い

7 本時の指導について

(1) 本時の目標

「動物の赤ちゃん図鑑」のカードを書くために必要な事柄を集めることができる。

(2) 本時の具体的評価規準

動物の赤ちゃんについて、視点に沿って調べ、必要な事柄を集めている。

(3) 本時の展開

過程	学習活動と学習内容	指導上の留意点	評価
導 入 〔5分〕	1 前時の学習内容を想起する。 2 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> どうぶつの赤ちゃんについて しらべよう。 </div>	・「動物の赤ちゃん図鑑」を作るために、自分が選んだ動物について想起させる。 ・「読む」の学習で取り上げてきた赤ちゃんの生まれたばかりの様子や、大きくなる様子に関する視点に沿って調べることを確認する。	○学習課題をとらえている。(観察)
展 開 〔35分〕	3 ワークシートの書き方について理解する。 ・ワークシートの書き方について例示したものをもとに確認する。 4 資料を読みながら、書き出す項目に関連した部分にアンダーラインを引く。 5 アンダーラインをもとに、自分の選んだ動物の赤ちゃんについての特徴を、項目ごとにワークシートに書き出す。	・体の大きさ、目や耳の様子、お母さんに似ているかなどの生まれたばかりの様子や、赤ちゃんの大きくなる様子など、書き出す項目について確認する。 ・項目の言葉を手がかりに文を探してみよう指示する。 ・早く終わった児童には項目で挙げられている以外のことで、分かったことを書き出すようにさせる。	○具体的評価規準 (A) 書き出す項目に関連した文を見つけ、必要な部分にアンダーラインを引いている。 (B) 書き出す項目に関連した文を見つけ、アンダーラインを引いている。 (Cへの支援) 書き出す項目の言葉に着目しながら文を探し、アンダーラインを引くようにさせる。

終末 〔5分〕	6 本時の学習を振り返る。	・ 観点に基づき、自己評価させる。	○ 観点に基づき自己評価している。(挙手)
	7 次時の学習内容を確認する。	・ 次時は、本時のワークシートをもとに「動物の赤ちゃん図鑑」カードを作ることを伝える。	